

昭和20年、少年少女だった あなたへ。



昭和から愛
三銃丸の年賀状

凶師三千男 監督作品

いま、青春のまん中にいる あなたへ。



昭和から愛
三銃丸の年賀状

凶師三千男 監督作品

STORY

太平洋戦争が終幕に近づいていた頃、九州・宮崎の山あいの町。そこには、人が人を思いやり、貧しささえ分け合うほど温かさに満ちた暮らしがあった。

敗戦のわずか三日前に芽生えた、若き兵士・河村と少女・ユリ枝との淡い恋も、そんな思いやりから生まれた一夜の出会いがきっかけだった。

二人の視線が、わずかに交わるだけの、一瞬の胸のときめき。そこから、四十年にわたって燃え続けた愛の軌跡が始まる。

言葉にあらわすことなく、胸に秘め続けたお互いの思い。激動の時代をくぐり抜け、共に生きてゆく連帯の絆。どこまでも純粹な心の交流が、昭和という時間を貫いて重ねられてゆく。

人を思うやさしさ。人を純粹に愛することの、とてつもない美しさと尊さ。それは、私たちが昭和という時代に置き去りにした、心の忘れものだった。



ふれることなく、ささやくことなく、燃えつづけた愛があった。